



(財)水道技術研究センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1

虎ノ門電気ビル2F

TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215

E-mail [jwrchot@jwrc-net.or.jp](mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp)URL <http://www.jwrc-net.or.jp>

## 平成23年河川功労者の表彰について

公益社団法人日本河川協会では、治水・利水に関する認識と理解を啓発するため、毎年、河川事業、研究、愛護、水防などの活動に功労のあった方々を河川功労者として表彰していますが、今回初めて当センターの推薦により、次の2団体が平成23年河川功労者として表彰を受けることが決まりましたので、お知らせいたします。

なお、「管路の機能劣化予測及びハザードマップに関する研究」については、当センターの研究開発事業である *e-Pipe* プロジェクト（平成20年度から平成22年度）の一環として実施した、管路技術に関する共同研究です。

受賞団体名称 代表者	功績内容
「管路の機能劣化予測及びハザードマップに関する研究」研究グループ 小泉 明（首都大学東京大学院教授）	水道管が古くなることによって、漏水事故の発生確率がどのように上昇するのかを統計的手法によって明らかにした。また、その発生確率をハザードマップとして視覚的に表現することによって、老朽化した水道管の積極的な更新を推進するための説明手法を提案し、水道管路の耐震化促進を図ることで防災体制の整備充実に尽力した。
阪神水道企業団 山中 敦（企業長）	水道原水の水質汚濁等の問題に対処するため、昭和60年度より、高度な浄水プロセスの開発研究に着手し、平成5年度には当時国内において最先端のオゾンと活性炭処理を組み合わせた高度浄水処理を導入するなど、先進的な取り組みを行ってきた。その後も、全ての浄水場に高度浄水処理の導入を進めたことに加え、阪神淡路大震災を教訓とした「地震に強い安定した用水供給システムの構築」を目指した施策を推進するなど、阪神地域の水供給に優れた成果をおさめている。

※ 表彰式の概要

日時および場所：平成23年5月24日（火） 砂防会館別館（千代田区平河町）

表彰理由：日本河川協会「河川功労者」表彰規程第3条第5項に該当

「河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、  
河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめた場合」

表彰総数：78件（団体35件、個人43件）

#### 配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までEメールにてご連絡をお願いいたします。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (財)水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : [jwrchot@jwrc-net.or.jp](mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp)

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

#### 水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

<http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h22.html>